

株式会社 国宝社 ロゴマーク運用マニュアル 2022年7月

目次

国宝社について	1
ロゴマーク表示規程 1:余白規程	2
ロゴマーク表示規定 2:サイズ規定	3
ロゴマーク表示規定 3:横表記①の規定	4
ロゴマーク表示規定 4:横表記②の規定	5
ロゴマーク色彩表現規定1:有彩色 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	6
ロゴマーク色彩表現規定2:濃淡のある無彩色 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	7
ロゴマーク色彩表現規定3:無彩色	8
ロゴマーク背景色の関係1:背景色が白色上の表現 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	9
ロゴマーク背景色の関係 2:背景が濃い無彩色上の表現	10
ロゴマーク背景色の関係3:背景が薄い無彩色上の表現	11
ロゴマーク背景色の関係4:背景が濃い有彩色上の表現 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	12
ロゴマーク背景色の関係 5 :背景が薄い有彩色上の表現 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	13
ロゴマーク誤用例	14

「和を以て貴しとなす」の精神で社員の意識を向上させるように、[コ]を9個繋げて和を作り、 社員ひとりひとりの向かう方向が一致するように思い込めています。

中央の「宝社」は、円そのものを文字のストロークとして作成しており、カクカクっとした文字がカジュ アルで親しみを感じるようになっています。

何年経っても魅力が色あせることなく、どんな時代でも愛されるマークになるよう、すっきりシンプルな 印象を受けるマークに仕上げました。



ロゴマークでは、常に独自性を確保するために、ロゴマークの周囲の余白と、 ロゴマーク自体の表示サイズについて規定を設けています。

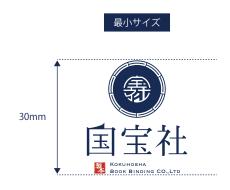
余白規定は、周囲の要素との間に、適切な余白を設けるための規定です。 以下に定めた規定にしたがって使用することで、他のマークや文字と一緒に使用される場合でも、 周囲の要素と混同することなく視認性を保ちます。



p.2 で述べたように、ロゴマークには、表示サイズについても規定があります。

サイズ規定は、ロゴマークの文字や図柄を正しく認識できる範囲内で使用するための規定です。 ロゴマークロゴマークとして、様々な場面で認識しやすく、 正しく機能するために、規定のサイズを守って使用することを推奨しています。





ロゴマークでは、必要に応じて横表記のみのパターンを使用することができます。 その場合の表示規定は以下の通りです。







ロゴマークでは、必要に応じて横表記のみのパターンを使用することができます。 その場合の表示規定は以下の通りです。





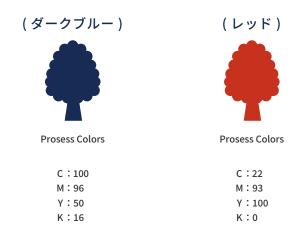


ロゴマークには、基本的な表現方法が3つあります。

1つ目は、2色を使った有彩色表現タイプです。

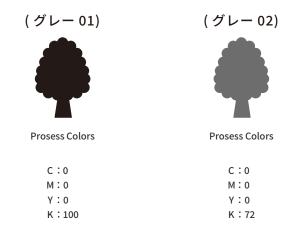
有彩色を使用する場合には、ここに示された色彩規定にしたがって表現してください。





2つ目は、グレーの2色を使った有濃淡のある無彩色表現タイプです。 濃淡のある無彩色を使用する場合には、ここに示された色彩規定にしたがって表現してください。





3つ目は、黒1色のみを使った無彩色表現タイプです。 無彩色を使用する場合には、ここに示された色彩規定にしたがって表現してください。





Prosess Colors

C:0 M:0

Y:0

K:100

背景が白色の場合の、国宝社の代表的な表現方法を以下に示しました。







背景が濃い無彩色の場合の、国宝社の代表的な表現方法を以下に示しました。 背景色の濃さが、50%のグレー以上である場合には、以下に規定した表現方法にしたがい 表現することで、視認性が保たれます。



背景が薄い無彩色の場合の、国宝社の代表的な表現方法を以下に示しました。 背景色の濃さが、49%のグレー以下である場合には、以下に規定した表現方法にしたがい 表現することで、視認性が保たれます。







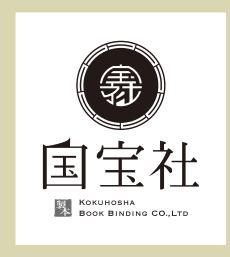


背景が濃い有彩色の場合の、国宝社の代表的な表現方法を以下に示しました。 背景色が、無彩色に変換したときに、50%以上のグレーになる濃い有彩色の場合には、 以下に規定した表現方法にしたがい表現することで、視認性が保たれます。



背景が薄い有彩色の場合の、国宝社の代表的な表現方法を以下に示しました。 背景色が、無彩色に変換したときに、49%以下のグレーになる薄い有彩色の場合には、 以下に規定した表現方法にしたがい表現することで、視認性が保たれます。









ロゴマークの表示についての誤用例を紹介します。

使用する際に参考にしながら、ここにあるようなデザインになっていないかどうか確認してください。 また、ここに示してあるもの以外で表現に不明な点が生じた場合は、株式会社 Omit まで お問い合せください。

●ロゴマークの色に関する誤用例



色彩表現規定にある色以外 は使わない



背景色に対し白枠を使わず 表現する際、一部分を白色に しない。



グラデーションを使うなど、 規定にない表現はしない

●ロゴマークの形に関する誤用例



縦横の比率を変更してはな らない



マークと文字の位置関係を 変更してはならない



他の要素に変更してはなら ない



ロゴマークを傾けて表示し ない



文字を他の書体に置き換え てはならない

●ロゴマークの背景・余白に関する誤用例



背景色に対して表示する白 枠を変形しない



ロゴマークの一部を切り 取って表示しない



余白規定を侵害して、影をつけてはならない



背景色に対し、ロゴマークを ふちどり抜きで表示しない



視認性を損なう場所に表示 しない



余白規定を侵害して、他の要素を表示しない